

事務事業名 少年補導員会事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：672

施 策：	19	青少年の健全育成	財務コード	01090603-21-555
基本事業：	04	環境浄化活動の推進	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	①少年の検挙・補導人数		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度		～		新規・継続	継続	会計区分	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
少年補導員会				筑紫野市青少年指導員と連携して、少年非行の防止のため、各地域の巡回活動等を行なっている。総勢25人（中学校区を1グループとし、3～7人で構成。）						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）				<少年補導員の主な活動>						
筑紫地区（特に筑紫野警察署管内の太宰府市）の少年補導員会と連携・協力し、補導活動必要な研修会を実施することにより、少年の非行を防止する。				・中学校区での補導活動						
				・筑紫野警察署との連携補導活動						
				・不審者対応への啓発活動						
				・立ち入り調査等の環境浄化活動						
				・筑紫野市青少年指導員と連携した夜間補導一斉パトロール						
・はたちのつどいの見守り活動										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称			単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
検挙補導総数（筑紫野市）			件	28	18	31	23			40
5. コスト										
事業費		計	千円	60	60	60	60			
		国	千円		0	0	0			
		県	千円		0	0	0			
		地方債	千円		0	0	0			
		その他	千円		0	0	0			
一般		千円	60	60	60	60				
正職員人工数			人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費			千円	773	782	802				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)			千円	833	842	862	60			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
●あがっている		令和5年中の検挙補導総数は減少している。今後も少年補導員の地域に密着した活動を支援していく。								
○どちらかといえばあがっている										
○あがっていない（停滞・低下）										
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし							
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	なし							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持／事業終了の場合は記入する必要なし）										
中学校区毎における自主補導、筑紫野警察署との連携補導活動、不審者対応への啓発活動、立ち入り調査等の環境浄化活動を行っており、筑紫野市における少年の非行防止の重要な役割を担っているため、支援を継続していく。										
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進行管理欄						
青少年の健全育成と非行防止を目的とする、少年補導員会活動の支援を行うことを目的とする。青少年を取り巻く状況が、年々厳しくなっていくなかで、少年補導員の活動に対する要望は高まっている。				平成27年度、白いポスト廃止。平成28年度から、負担金相当60千円のみ補助。						